

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 344番
- *交読文 46番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 107番
- 礼拝のための祈り 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 341番
- 聖餐式 賛美281番
- メッセージ 信じない者にならないで信じる者に(ヨハネ 20:19-29)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 350番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

「私は信じた。それゆえに語った。」と書いてある通り、それと同じ信仰の霊を持っている_____も、信じているゆえに語るのです。それは、主イエスをよみがえらせた方が、_____をもイエスとともによみがえらせ、_____といっしょに御前に立たせてくださることを知っているからです。全てのことは_____のためであり、それは、恵みがますます多くの人々に及んで感謝が満ちあふれ、神の栄光が現われるようになるためです。ですから、_____は勇気を失いません。たとい_____の外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。今の時の軽い患難は、_____のうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。_____は、見えるものにはなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。(2コリント 4:13-18)

『その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。』(ヨハネ 20:19-20)
 この時、トマスだけが何かの用事のためにそこにおらず、彼が帰って来た時、弟子たちや婦人達は、きっと興奮ぎみに語つただろう。イエス様は確かに現れた、確かに生きておられ、「平和があるように」と言って下さった、そして、その手とわきには痛々しい傷跡があり、聖霊を受けるように息を吹きかけられた、と。『トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。』(同25節)
 トマスはそう言ったものの、まさか、10人の弟子たちと婦人達が、よってたかつてトマスにウソをついて、からかっていたのだ、などと、本気で思っていたわけではあるまい。
 自分が何らかの用事で不在の間に、兄弟姉妹の間に、主が、ありありと現れ、すばらしい事をなされた、と言われたとしたら、どう思うだろうか。きっと、強烈な「置いてけぼり感」にとらわれるのではなかろうか。しかし、たとい私たちが「わたしは絶対に信じない」と頑なになってしまったとしても、主は憐れんで下さる。

『さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけあつたのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。』(同 26-27 節)
 皆さんはどう思うだろうか。死んだとばかり思っていたイエス様が、肉体を持った人として目の前に現れ、その、刺し貫かれた手と脇腹とを示され、「あなたの指を、ここに差し入れてみなさい」と、やさしい御声で話しかけられ、その刺し貫かれた傷跡、肉が赤く裂け、骨まで見えているその傷跡を、目の前に差し出されたら。トマスは、涙ながらに言う他になかっただろう。「**私の主、私の神。**」
私たちの神、私たちの主は、頑なで信じないトマスのような私たちのために、まさにその傷を負われたのだ。

1週間前、トマスが弟子たちに囲まれながらも「信じない」と言ったその時、主はその場にいなかったはずなのに、主はなぜか、トマスの言った言葉を知っており、覚えていた。
主は、私達が不信仰で頑なな時、不信仰な言葉を言った時、たといそこが密室であったとしても、主はそこにいて聞いておられ、また、私たちが主がいらないかのように感じたり、取り残されたように感じる時も、実は、ちゃんと共におられて、私達がその時感じた事や心の言葉も、全て知り、覚えておられるのだ。
 トマスはイエス様の手や脇腹に指を突き刺してみなければ信じない、と言った。当人がそこにいないと思つて、大げさに言ったのであろうが、それは言ってみれば、イエス様を再び刺し貫くような言葉である。
「信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」
 置いてけぼり感や、取り残され感から、イエス様を突き刺すような言葉を思わず口走ってしまうとしても、主は「いいよ、それで信じるなら、あなたの指をここに入れなさい」と、裂かれた手や脇腹を示されるのである。復活の後のイエス様は、繊細に、そっと、私たちに現れて下さる。強制力によってではなく、愛によって、優雅な品性漂う振舞いによって、頑なな心を溶かし、私達はその愛に触れられ降参するしかなくなるのだ。

現代を生きる私達は、肉体をまとったイエス様を、目で見たり、手で触ったり(通常なら)できないが、当時の目で見たり触ったりした弟子たちより、幸いである。なぜなら、「**見ないのに信じる人は、幸いである**」から。『信仰の試練は、火を通して精練されてもなおおちて行く金よりも尊いのであって、イエス・キリストの現われのときに称賛と光栄と栄誉に至るものであることがわかります。あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、いま見てはいないけれども信じており、ことばに尽くすことのできない、栄えに満ちた喜びにおどっています。』(1ペテロ 1:7-8)
 見える所によるのではなく、見えないキリストを信じる信仰によって歩み、キリストのあらわれの時には、称賛と光栄と栄誉に至る皆さんでありますように！イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

1部礼拝(韓国語中国語通訳有) 10:30
 食事/フェローシップ 12:00～
 2部礼拝 14:00
 聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
 火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
 火・木 夜の祈祷会 21:00～

水曜集会

1部 13:00～
 2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
 6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
 JR・関内駅より徒歩10分
 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
 1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
 毎日携帯にお届けします。
 左記コードを読み込み、
 空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト